

蔵の街並みキャンパス事業発表 2016. 2. 6

市民と学生の協働による 新しいメディア作成の取り組み

東京大学文学部社会学 小林真理ゼミ
発表者：小谷野滉、山田吉成

目次

- フリーペーパー作成に至るまでの活動
- フリーペーパー・プロジェクト概要
- 個々の記事内容
- 今後の予定・反省点

当ゼミの指針

文化・芸術

社会・都市の課題の解決策を示し、
社会の潜在的な力を発掘する可能性を持つ。

少子高齢化

産業の衰退
市街地の空洞化

須坂では...

「文化芸術振興ビジョン」を活かせないか

→ 蔵の町並みキャンパス事業にて企画の提案（2013年～）

2013年度 文化芸術振興ビジョンの育て方

市民を巻き込む・きっかけづくり

文化芸術振興ビジョン
の育て方

市民によるビジョンの評価

今日は須坂の日

時間を過ごせる場所/
カフェとワークショップ

持続可能な須坂を目指して

Facebookの有効活用

住みやすい都市〈須坂〉を
目指して

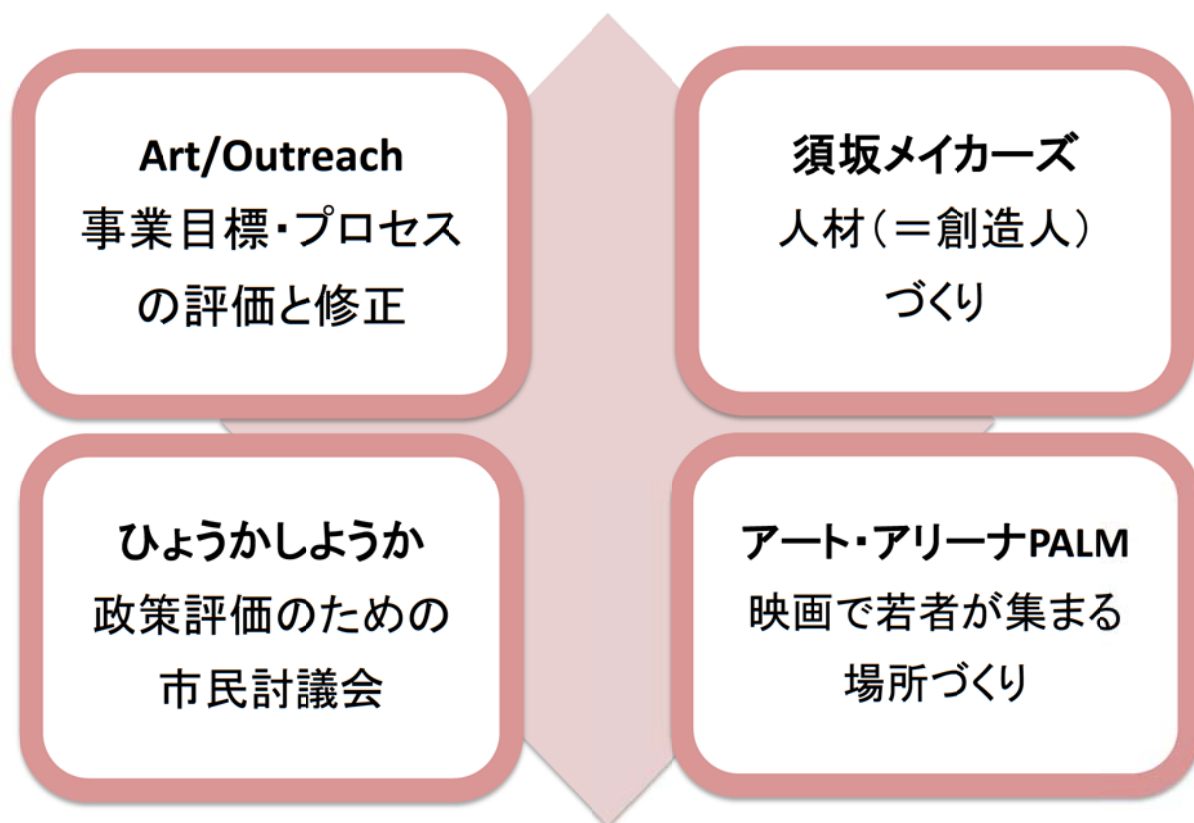
子育て層向け
アートプロジェクト

新しい須坂を考える会

市民プロデューサーの
発見と育成

2014年度 文化芸術振興ビジョンの咲かせ方

具体的な実施計画・将来への発展



2015年度 文化プロデュース講座

成果を形にするための具体的方策

講座Ⅰ

8月22日(土)・23日(日) 13:30~15:30

@須坂市文化会館(メセナホール)

アートマネジメントの説明と事例紹介

講座Ⅱ

9月1日(火) 10:00~12:00

@須坂市文化会館(メセナホール)

市民の方々による企画の持ち寄り
とディスカッション

講座Ⅲ

9月26日(土) 13:30~15:30

@旧上高井郡役所

年度内実施企画の決定と役割分担

2015年度 文化プロデュース講座

講座Ⅰ <アートマネジメントの概要説明と事例紹介>

ex. アイアンシアター、BankART

「連携がなっていない」
「取り組みに人が参加する仕組み
そのものを変えていく必要
あり」



講座Ⅱ <市民の方々による企画の持ち寄りと討論>

ex. 紙芝居、空き店舗活用マップの作成

2015年度 文化プロデュース講座

講座Ⅲ <年度内に実施する企画の議論と決定>

意見
「市民のつながりが
希薄」

方針
「つながりを
つくる」

フリーペーパー
の作成へ



「すざかる」

= 須坂 + カルチャー

プロジェクトの目標

すざかる第0号

音楽でつなげる
他のジャンルの人
にもアピール

中期目標

ジャンル・規模を
問わずつなげる

長期目標

文化活動の発展
(新たな創造
+ 須坂の魅力up)

市民自らの手で！

フリーペーパー「すざかる」第0号

・サイズ：B5 コート紙にカラー印刷

・ページ：22 ・部数：1000部

対象は、須坂市内の文化活動家。音楽特集号。7つの記事から構成される。

インタビュー企画「となりの須坂人」

対談企画「アートマッチ」

体験レポ企画「みんなの体験レポ」

歴史紹介「須坂の昔ばなし —須坂小唄—」

演奏スペース紹介「Suzaka Musicbase」

音楽活動家紹介「ぼくらのまちの奏者たち」

サウンドスケープ「音風景に注目！」

記事の企画方針



文化活動者の意識を以下の三つに分類し、それぞれの意識をもった読者にアプローチ

インタビュー 「となりの須坂人」

目的

- ①「他の人、団体に興味を持つ」きっかけに
- ②「何かを始める」動機に！

内容

須坂の音楽活動家2人(グループ)取材
南澤汎山さん(尺八奏者・須坂市文化芸術協会会長)
長谷川綾さん(4人組ロックバンド)

講座参加者の役割	ゼミ生の役割
取材対象者の提案	取材対象者の選定
取材対象者との仲立ち	当日の取材内容検討
当日の同伴	当日の取材

インタビュー 「となりの須坂人」

取材当日

インタビューによる波及効果
・・・市民同士の交流の機会にも

南澤汎山さん取材後の歓談の様子



ロックバンド「長谷川綾」さん
取材時の様子



対談 「アート・マッチ」

目的

- ①何かを始めたい活動者に機会を提供
- ②読者が何か活動をするきっかけになる

内容

須坂の音楽イベント企画に関わる4者の対談

田子公彦さん (須坂フェス企画、旋風堂)
中村仁さん (須坂フェス企画、ひとしバンド)
山下徹也さん (須坂フェス企画、山下薬局)
清水小百合さん (イベント企画ウォーム*ハーツ)

対談 「アート・マッチ」

取材当日

文化活動の情報共有の方法について議論
(現状の課題、行政への期待など)

対談者同士のコラボ案が誕生

対談の様子



体験レポ 「みんなの体験レポ」

目的

文化活動者に「気づき」を与える

内容

- ・「クリスマスレクチャー」のレポート
⇒批評＋新たな提案
- ・講座参加者とともに
イベント参加＋意見交換＋執筆



レクチャーの様子



高校生によるコンサート



講座参加者との座談会

歴史紹介 「須坂の昔ばなし-須坂小唄-」



目的

- ①市民としてのアイデンティティを刺激。
- ②読んで楽しんでもらう。

内容

「須坂小唄」を題材に、須坂の歴史を紹介。唄ができた頃の地図も掲載。

講座参加者の役割

草稿のチェック

地図の資料提供

ゼミ生の役割

草稿作成

地図作成

音楽発表の場所紹介 「Suzaka Musicbase」

音楽イベントを開ける場所を2か所紹介

蔵のまち観光交流センター2階



旧上高井郡役所2階



その他の記事

音楽活動家紹介
「ぼくらのまちの奏者たち」

講座参加者の
方が提案した
記事

音楽家・団体の一覧。音楽ジャンルや活動場所
を掲載。

須坂の環境音で俳句
「音風景に注目！！」

環境音に注目。ゼミ生が「須坂の音」
をテーマに作った俳句を掲載。

配布

1000部を三つの方法で配布予定

講座参加者など
市民のツテ

400部

市内の施設に
ラック・平積み

425部

学校付近の街頭
で配布

175部

フィードバック

- 目的**
- ・プロジェクトの目的の達成度合いと市民の反応を見る
 - ・今後の取り組みに向けた改善点の洗い出し

方法 紙媒体のアンケート用紙とオンラインを併用

具体的には...

「初めて知った/参加したい/コンタクトをとってみたいと思った
団体や活動はありましたか。」

「フリーペーパーすざかるの作成に関わってみたいと思いますか。」

反省点・改善点 I

タイトなスケジュール

- ・完成予定日を1か月後ろ倒し
- ・予定していたメセナの風の取材を断念(体験レポ)

市民の方々は「生活者」

- ・ゼミの都合中心で動いていた
- ・休日や年末年始は忙しい

反省点・改善点 II

事務的な手続き

- ・交通費申請のために一週間前に連絡
- ・インタビューの場所や取材場所へのアポイントメント

情報共有

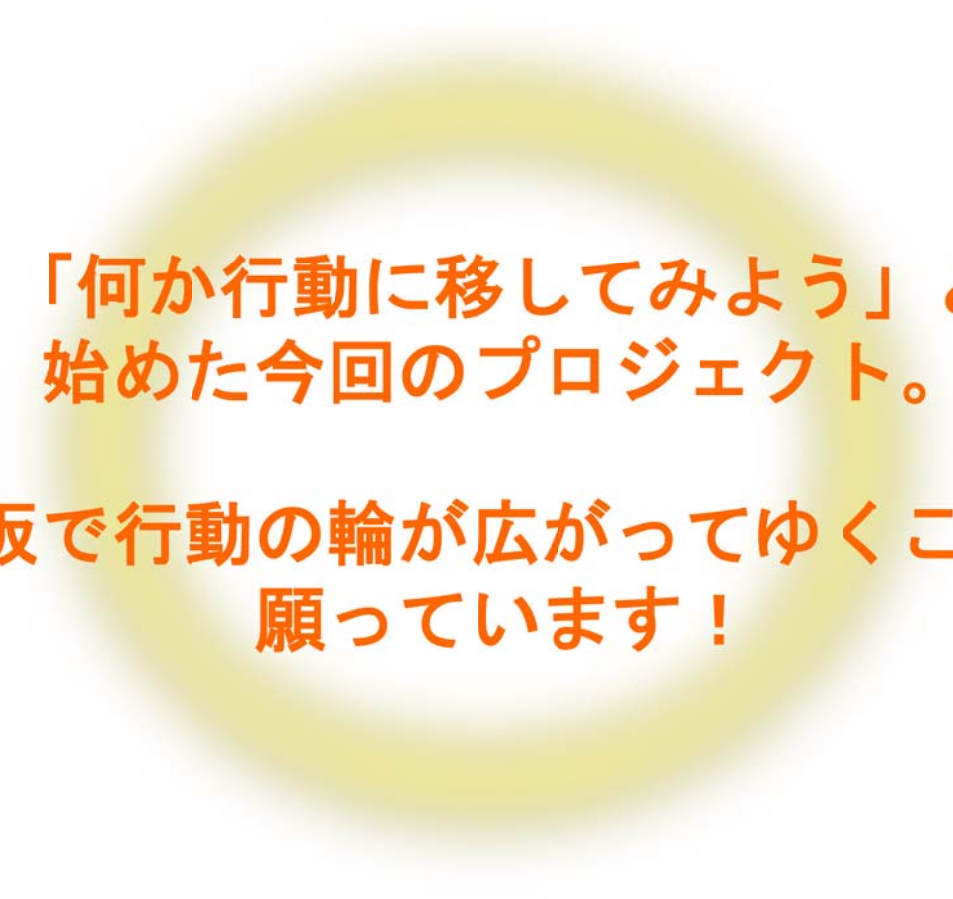
- ・ゼミ内部で、また事業団、講座生との間で常に情報を共有する難しさ

次の段階へ…



小林ゼミが関わった
フリーペーパー

市民主体の
取り組みへ！



「何か行動に移してみよう」と
始めた今回のプロジェクト。

須坂で行動の輪が広がってゆくことを
願っています！

プロジェクト参加者

○小林真理ゼミ

リーダー : 越村真至
編集長 : 山口啓太

高城泰裕、寺口瑤貴、大井真、川口武蔵、松井千織、朝倉泰臣、
照井敬生、井上涼、藤岡秀章、近藤多聞、小林未佳、進藤嵩平、
染谷知里、山田吉成、木下詩織、東秋帆、小谷野滉、松本実沙音、
横田伸治、杉山昂平

○市民講座参加者 8人